

## 気を引き締め消火手順を再確認

11月15日（土）～16日（日）の2日間にわたり、東通村消防団が秋季火災予防運動及び消防施設巡回査察を実施しました。この査察は火災予防運動の一環として、また、防火態勢の更なる充実と防火思想の啓蒙のため、春と秋の年2回行われています。

査察当日は、濱端源三消防団長をはじめ消防団本団並びに東通村消防委員が村内の20個分団を巡回し、団員の服装・礼式、車両・機械器具の作動・操作の確認及び放水訓練等を行いました。

冬になり、家庭のほか作業場等でも暖房を使う機会が多くなります。火の元には充分注意し、火災の無い穏やかな新年にしましょう。



礼式・服装や装備のほか、操作法も確認

## 健康と日頃の生活の大切さを学ぶ

11月19日（水）、全国健康保険協会青森支部が実施している健康教室が東通中学校1年生を対象に開催されました。

この取り組みは、「これまで成人病とされてきた肥満や高脂血症などが、子供たちの中にも生活習慣病予備群として増えている」とを受け、その原因とされる幼少期からの運動不足や食生活の乱れ、テレビゲームやパソコン等による睡眠の乱れなどを改善するため、青森県教育庁との連携・協力のもと行われています。



自分の普段の生活を振り返り、同級生とも比べながら、健康と日常生活について考えました

健康教室では、同協会の保健師を講師に迎え、生活習慣と病気の関係や日本の医療制度について学びました。また、太りにくい体质を作るための運動（ドローイン）を体験し、生徒たちは、日頃の生活習慣の大切さに気付かされた様子でした。

## 伝統行事『秋振る舞い』を開催

11月30日（日）、蒲野沢地区において「秋振る舞い」が行われました。

「秋振る舞い」とは、東通村に古くから伝わる「アギブルメエ」という年中行事を復活させたもので、地域の皆様と秋の実りに感謝し、楽しいひとときを過ごしながら地域の絆を深めようと開催されました。

この日は、主催の蒲野沢青年会（田村智和会長）による権現舞が奉納された後、津軽・南部民謡三味線森川流家元 森川弘彩氏、南部七唄全国大会第23代王座 宮下俊弘氏など多数の方々が出演し、三味線や民謡、手踊りで会場を盛り上げました。

また、会場では東通そばを始め手作りの漬物や餅などが振舞われ、来場者一同歓談しながら楽しいひとときを過ごした様子でした。



観客も一緒に賑やかな一日でした